

所属 人間生活学部 保育学科		職名 教授	氏名 吾 田 富士子
学位 修士(教育学)(鳴門教育大学)	特記すべき資格	保育士,幼稚園教諭(二種),特別支援学校教諭(一種),中学校教諭(専修),高等学校教諭(専修)	大学院における研究指導担当資格 無
I 教育活動			
主な担当科目 <学 部> 保育原理, 保育者論, 保育の心理学, 幼児理解と援助, 保育所実習指導			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			
1) 演習での保育・教育現場調査	1998年～現在	必修科目「保育学研究演習」では理論と実践の統合を目指し, 医療保育現場, 児童相談所, 子育て支援センター, シュタイナー学校など学外施設を積極的に訪問し, 多様な保育・教育の実際と行政の役割等の学びを深めている。また, 演習での学びがボランティアサークルの立ち上げや卒論研究, 学会等での発表へと結びついている。	
2) 講義・演習での自己課題発見のための課題	2002年～現在	幼稚園教諭必修科目「保育者論」では, 保育者を目指す者としての自己課題発見のために毎回講義内で課題を果たし, 自身の課題追求と感性及び的確な言語表現を目指す指導をしている。	
3) 実習での保育実践と, ビデオによる振り返りと学習	2002年～現在	「乳幼児・障害児実習」では, 複数の実践を毎回ビデオ撮影し, 「幼児理解と援助」「保育の心理学」の中で視聴, 振り返り反省・評価, 保育実践力育成に効果をあげている。実施した学生のみならず, 全履修者がビデオを視聴し, 反省を共有し, 実践力を高め, 実際の子どもの姿から子どもの発達理解を深めている。	
4) 現場の保育者・園医の講演会の企画と学生参加	2003年～現在	北海道保育園保健協議会と札幌市乳幼児園医協議会の合同講演会や日本医療保育学会ブロック研修会を, 現場の保育者, 病棟保育者, 病児保育関係者, 園医たちと共に学ぶ機会を持った。学外での講演会であり, 参加はできない者もあったが, 現場の理解に役立てた。	
5) 「保育学研究演習」での農業・酪農体験	2006年～現在	生のリアリティや食育, いのちの観点から, 「保育学研究演習」において, 学内の畑で農業体験と大学祭での収穫物の調理・提供を行っている。食育や自然体験に関する先行研究を学び, 学生自身による子どもや保育者に必要な体験を探る試みとなっている。	
2. 作成した教科書, 教材			
1) 講義・演習, 各種研修会でのプリント・レジュメ	1998年～現在	全ての講義・演習, 研修会・講演はオリジナルのプリント・レジュメにより行っている。	
2) ゼミ卒業論文集	2002年～現在	指導した学生の卒業論文と要旨, 審査会の記録と審査後の手続きなどを掲載し, 卒業論文指導の記録・資料とした。次年度以降の学生はこの資料を参考にしながら卒業論文作成に当たっている。	
3) 子どもと共に育ちあう エピソード保育者論(株式会社みらい)	2016年2月	本書は保育者論のテキストである。第4章「教育課程・保育課程による保育の展開と自己評価」第1節「カリキュラムー保育の場の整備と保育の展開の基準ー」～第4節「保育の内容等の自己評価」のなかで, 保育者の専門性と保育の質について, 具体的なカリキュラムや保育展開, 自己評価の観点から示した。幼稚園教育要領等の改訂に伴い内容改訂, 第1節幼小連携とカリキュラム・マネジメントを加筆, 2020年3月改訂版発行予定。	
4) 医療保育セミナー(建帛社)	2016年5月	本書は医療保育テキストの改訂版である。医療現場で活躍する保育士が増え, 医療保育専門士が誕生し, その業務内容も多岐にわたってきた。また, 急性期から終末期の子どもに対する保育の専門性も幅広く, 保護者やきょうだい支援へと広がっており, 現職保育士の具体的な事例を踏まえた, より実践的なテキストとした。	
5) 保育実習ガイドラインー保育所実習編ー2018年版(全国保育士養成協議会北海道ブロック協議会)	2018年3月	本書は保育実習指導 I II のテキストであり, 北海道の保育士養成校で用いる基底となるものとして編集した。第3章保育実習 II 第1節保育実習 II の目的・内容において, 総合的に保育をとらえる保育実習 II の特徴を示した。また, 全体の編集を担当した。	
6) 保育実習指導ガイドラインー実習施設ー2018年版(全国保育士養成協議会北海道ブロック協議会)	2018年3月	本書は保育実習指導のための保育施設の指導担当者のためのテキストである。現在, 施設によって異なる指導・評価を, 保育実習の目的に沿って編集し, ミニマムスタンダードとして用いられることを目的としている。	
7) 保育者・教育者のための保育原理・初等教育原理ー来るべき未来のために(八千代出版)	2018年5月	本書は, 保育原理, 教育原理のテキストである。最新の世界の保育動向等にも触れながら, 学生だけではなく現職保育者・教師のためのテキストとして編集した。編集及び第3章日本の保育・初等教育の現状において, 総合的な視点から保育・幼児教育の現状と今後について示した。	
3. 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等			
4. その他教育活動上特記すべき事項			
1) 人間生活学部保育学科第3回リカレント講座講師	2015年2月	テーマ「子ども・子育て支援新制度とこれからの保育」	
2) 人間生活学FD委員会主催授業改善のための授業公開	2015年11月	「乳児保育」の授業公開を行った。	

II 研究活動				
研究分野: 保育者養成, 保育実習, 医療保育		研究キーワード: 保育の質, 保育実習, 保育環境, 子どもの健康, 保育者養成, 保育者の成長, 医療保育		
研究課題: ①保育者養成カリキュラムと保育実習 ②北海道の保育と歴史研究 ③保育環境と子どもの健康 ④保育の質向上と保育者の成長 ⑤医療保育				
研究内容: ①全国保育士養成協議会専門委員の2014～2015年度課題研究は「学生の自己成長感を保障する保育実習指導のあり方」とし、全国の保育士養成校への実態調査を実施し、2014年度および2015年度の『専門委員会課題研究報告書』にまとめ、平成27年度および2016年度全国保育士養成セミナーにおいて報告した。また、2016年度は「保育実習指導科目のシラバスからみえる指導内容の実態－実習指導における課題と展望－」というテーマで、全国の保育者養成校のシラバスを調査し、2016年度の『専門委員会課題研究報告書』にまとめた。 ②北海道の保育と歴史研究: 北海道初の障害児保育指定園として、また本学の実習園として設立された羊丘藤保育園の設立経緯をたどり、当時の北海道の保育事情および継続されている保育実習の意義と課題を明らかにした。また、本学の「キリスト教保育」講義の開設の経緯と現在の受講の意識を子どもに伝えたい聖書の言葉の分析から明らかにした。 ③保育環境と子どもの健康: 全道の保育園への実態調査を継続的に行っている。2014～2016年度は保育園における食物アレルギーとその対応に関する実態調査、2017年度は保育士の満足度及び課題に関する調査を実施した。2018年度は震災による子どもと保育者のストレスに関する調査を行い、北海道胆振東部地震時の園の対応と地震後の状況を明らかにし、2019年に学会発表、2019年度は保育園での各種安全対策調査を実施した。 ④保育の質向上と保育者の成長: 近年の保育の動向と保育園児の生活状況を踏まえ、保育の質向上のために求められる保育者の資質を継続研究している。保育所児童保育要録初年時の札幌市内全小学校と保育所への調査、主任保育士の意識と他職種の専門性から保育者の成長と現職教育の組織化の必要性を考察し、保育士の業務に関する実態調査から、保育士の事務時間確保が保育の質向上のための必要条件であることを明らかにした。保育士研修会等で調査研究の結果を報告し、具体的な業務整理の助言指導している。2016年度は研修を受けて業務改善を行った事例を取り上げ、また保育士の意識改善に有効な研修のあり方についての研究を行った。 ⑤医療保育: 医療保育専門士、子ども療養支援士、HPS(Hospital Play Specialist)の共通点と相違点を明らかにし、2015年度の日本保育学会にて発表した。また、CLS(Child Life Specialist)に対する調査を行い、学会誌に報告し、今後の医療保育の課題について考察した。2016年度は医療保育に関するテキストを更新し、診療科毎の保育の専門性について言及した。2017年度は医療保育専門士への調査を行い、医療現場での保育士の職務・意識の現状と診療フィールドに特化した保育の専門性について明らかにした。2018年度は北海道胆振東部地震時の医療保育士の業務について調査し、2019年に学会報告、その後の保育士の意識の変化を追加調査し、2020年学会誌に掲載予定である。医療保育テキストを2021年発行予定で改訂作業中である。				
科学研究費及びその他外部資金の獲得状況:				
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
(著書)				
1. 医療保育セミナー (再掲)	共	2016年5月	建帛社	103-139頁(第7章「医療保育の実践」1.保育実践とは、2.保育に必要な情報収集とアセスメント、3.保育の記録と評価、4.病棟保育の実践、5.病児保育の実践、6.重症心身障害児の保育実践、7.家族支援の実践)
2. 保育者・教育者のための保育原理・初等教育原理－来るべき未来のために (再掲)	共	2018年5月	八千代出版	第3章「日本の保育・初等教育の現状」第1節日本の保育・教育制度、第2節日本のめざす保育・初等教育の方向性－グローバル教育改革、第3節これからの社会と乳幼児期の重要性 編者: 吾田富士子 著者: 吾田富士子, 諫山裕美子, 大庭三枝, 門田理世, 上垣内伸子, 篠原郁子, 渡邊哲也, 渡邊由恵
3. 子どもと共に育ちあう エピソード保育者論 (再掲)	共	2020年3月 (発行予定)	株式会社みらい	57-65頁 第4章「教育課程・保育課程による保育の展開と自己評価」 編者: 井上孝之, 山崎敦子 明柴聰史, 吾田富士子他
(学術論文)				
1. 保育士の事務時間確保の必要性と保育の質－保育士の業務に関する実態調査から－	単	2015年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第52号	47-56頁
2. 保育実習のシステム構築に向けて－子どもと触れ合う機会の少ない学生の保育者養成の模索－	共	2015年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第52号	57-64頁 ◎吾田富士子, 関口悠子
3. 平成26年度専門委員会課題研究報告書 学生の自己成長感を保障する保育実習指導のあり方－保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを中心－	共	2015年8月	一般社団法人全国保育士養成協議会 (全222頁)	40-71頁 第2部「調査の概要と実習指導の実態」第3章「実習指導体制について」 ◎上垣内伸子, 鷺見裕子, 松島京, 吾田富士子, 利根川智子, 和田上貴昭, 朴淳香, 岡本依子, 亀崎美沙子, 仙石美千代, 油井宏隆, 浦田雅夫, 脇信明, 植英子, 勝浦美和
4. 保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査報告<第1報>	共	2015年9月	道保育保健ニュース 第29号	別冊1-13頁 ◎吾田富士子, 渡辺一彦, 飯塚進, 菊田英明, 川合洋子, 吉木美恵, 古田博文

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
5. 平成26年度保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査－第1報－	共	2015年9月	北海道医報 第1164号	35-37頁 ◎渡辺一彦, 吾田富士子, 飯塚進, 菊田英明, 川合洋子, 吉木美恵, 古田博文
6. 医療保育関連職種の役割－医療保育専門士と子ども療養支援士・HPS－(査読付)	共	2016年3月	医療と保育 第14号	4-17頁 ◎鹿島房子, 星野早苗, 東島明子, 吾田富士子
7. 医療保育関連職種の専門性と協働－チャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)と他職種の共通点と相違点から－(査読付)	単	2016年3月	医療と保育 第14号	18-30頁
8. 医療保育関連職種の専門性と協働－チャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)と他職種の共通点と相違点から－(査読付)	単	2016年3月	医療と保育 第14号	18-30頁
9. 平成27年度専門委員会課題研究報告書「学生の自己成長感を保証する保育実習指導のあり方Ⅱ－ヒアリング調査からの検討－」	共	2016年6月	一般社団法人全国保育士養成協議会 (全230頁)	9-19頁 第1章「実習の連続性と保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの配置」 ◎上垣内伸子, 吾田富士子, 利根川智子, 和田上貴昭, 朴淳香, 岡本依子, 亀崎美沙子, 鷺見裕子, 仙石美千代, 油井宏隆, 松島京, 浦田雅夫, 脇信明, 槇英子, 勝浦美和
10. 保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査報告<第2報>	共	2016年9月	道保育保健ニュース 第31号	別冊1-22頁 ◎吾田富士子, 渡辺一彦, 飯塚進, 菊田英明, 川合洋子, 吉木美恵, 古田博文
11. 平成27年度保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査－第2報－	共	2016年10月	北海道医報第1177号	27-30頁 ◎渡辺一彦, 吾田富士子, 飯塚進, 菊田英明, 川合洋子, 吉木美恵, 古田博文
12. 保育の質を規定する職場環境と環境改善のための研修のあり方－環境改善の試行と研修による主任保育士の意識の変化から－	単	2017年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第54号	69-79頁
13. 保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査報告<第3報>	共	2017年9月	道保育保健ニュース 第33号	別冊1-37頁 ◎吾田富士子, 渡辺一彦, 飯塚進, 菊田英明, 吉木美恵, 古田博文
14. 保育所(および認定こども園)における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査－第3報－	共	2017年10月	北海道医報 第1189号	1-4頁 ◎渡辺一彦, 吾田富士子, 飯塚進, 菊田英明, 吉木美恵, 古田博文
15. 医療保育専門士の活動フィールドによって異なる専門性－専門性構築をめざして－(査読付)	共	2019年3月	医療と保育 第17号	16-26頁 ◎吾田富士子, 土屋昭子, 碓氷ゆかり, 杉山全美, 吉田弥生
16. 医療保育専門士の業務実態－活動フィールドによって異なる専門性の解析のために－(査読付)	共	2019年3月	医療と保育 第17号	6-15頁 ◎土屋昭子, 吾田富士子, 碓氷ゆかり, 杉山全美, 吉田弥生
17. 震災時の医療保育士の業務について－北海道胆振東部地震当日の業務と震災に関する意識調査から－(査読付)	共	2020年3月 (発行予定)	医療と保育 第18号	◎吾田富士子, 北島真史, 高橋まゆみ, 中谷城子, 浦山香奈子, 荒関麻美
(その他)				
1. 医療保育関連職種の役割－医療保育専門士とCLS・HPS－	共	2015年5月	第68回日本保育学会(椴山女学園大学)	大会要旨集95頁 ◎吾田富士子, 鹿島房子
2. 日本医療保育学会調査研究委員会報「医療保育専門士・CLS・PHS・子ども療養支援士業務に関するアンケート調査の概要－日本医療保育学会調査研究委員会からの報告－」	共	2015年6月	日本医療保育学会第19回総会・学術集会(日本赤十字看護大学)	抄録集24頁 ◎吾田富士子, 星野早苗, 東島明子, 鹿島房子, 金城やす子
3. 保育者養成の今日的意義－変わりゆくこと, 変わらないこと－(第3分科会運営責任)	単	2015年9月	平成27年度全国保育士養成セミナー(ロイトン札幌)	実施要綱55頁 運営責任者: 吾田富士子, 話題提供者: 小川恭子, 増田まゆみ
4. 編集後記	単	2015年9月	道保育園保健ニュース 第29号	10頁
5. 学生の自己成長感を保証する保育実習指導のあり方Ⅱ－ヒアリング調査からの検討－	共	2016年8月	平成28年度全国保育士養成セミナー(盛岡市民文化ホール「マリオス」)	実施要項22頁 ◎脇信明, 吾田富士子, 岡本依子, 仙石美千代, 浦田雅夫, 勝浦美和

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
6. 保育の多様性と専門性—医療保育に着目して—	単	2016年8月	全国保育士養成協議会第55回研究大会(いわて県民情報交流センター「アイーナ」)	研究発表論文集201頁
7. 編集後記	単	2016年9月	道保育園保健ニュース第31号	9頁
8. 保幼小連携と保育者・教員養成の課題—教育観・保育観に着目して—	単	2017年9月	第35回ペスタロッチャー・フレール学会(茨城大学教育学部水戸キャンパス)	学会プログラム・発表要旨集録28-29頁
9. 保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査第3報	共	2017年10月	第23回日本保育保健学会(高知市文化プラザ)	学会プログラム・抄録集90頁 ◎吉木美恵, 吾田富士子, 渡辺一彦, 飯塚進, 菊田英明, 古田博文
10. 特集「保育所保育指針の改定について—総論:保育所保育指針改定の主な概要, 方向性, 内容—」	単	2017年11月	道保協ニュース 107号	1-3頁
11. 特集「保育所保育指針の改訂について—各論:具体的な実践のポイント—」	単	2018年3月	道保協ニュース108号	1-3頁
12. 編集後記	単	2018年3月	道保育園保健ニュース 第34号	8頁
13. 北海道ブロック協議会における保育所保育実習ガイドラインの作成	共	2018年9月	平成30年度全国保育士養成セミナー(長良川国際会議場・岐阜都ホテル)	セミナー開催案内・ブロック助成研究報告44頁 ◎中島常安, 吾田富士子, 品川ひろみ, 深浦尚子, 瀧澤真毅, 山田克己
14. 北海道の保育士の現状と課題—職務満足度に関する調査から—	共	2018年10月	第24回日本保育園保健学会(朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)	学会プログラム・抄録集72頁 ◎吾田富士子, 飯塚進, 小笠原由法, 菊田英明, 古田博文, 吉木美恵, 渡辺一彦
15. 保育士の満足度及び課題に関する調査報告	単	2018年10月	道保育園保健ニュース 第35号	5-8頁
16. 教員著作紹介	単	2018年10月	藤女子大学図書館だより第96号	5頁
17. 保育士の満足度及び課題に関する調査<第1報>	単	2018年10月	北海道保育保健協議会・札幌市乳幼児園医協議会合同講演会(札幌市医師会館第ホール)	
18. 特集「保幼小連携に向けて—保育所保育指針の改訂を踏まえて—」	単	2018年11月	道保協ニュース 109号	1-3頁
19. 編集後記	単	2019年3月	道保育園保健ニュース 第36号	8頁
20. 特集「保幼小連携に向けて—広域北海道の挑戦 福井からの示唆—」	単	2019年3月	道保協ニュース 110号	1-4頁
21. 震災による子どもと保育者のストレスに関する調査1—北海道胆振東部地震時の園の対応と地震後の状況調査—	共	2019年5月	第25回日本保育保健学会(神戸国際会議場)	学会プログラム・抄録集72頁 ◎吾田富士子, 飯塚進, 小笠原由法, 菊田英明, 古田博文, 吉木美恵, 渡辺一彦
22. 震災による子どもと保育者のストレスに関する調査2—北海道胆振東部地震時の園の対応と地震後の状況調査—	共	2019年5月	第25回日本保育保健学会(神戸国際会議場)	学会プログラム・抄録集67頁 ◎吉木美恵, 吾田富士子, 飯塚進, 小笠原由法, 菊田英明, 古田博文, 渡辺一彦
23. 北海道胆振東部地震当日の医療保育士業務について—医療チームの一員として—	共	2019年6月	日本医療保育学会第23回総会・学術集会(仙台市中小企業活性化センター)	総会・学術集会抄録集30頁 ◎吾田富士子, 高橋まゆみ, 北島真史
24. 震災による子どもと保育者のストレスに関する調査—北海道胆振東部地震時の園の対応と地震後の状況調査—	共	2019年9月	北海道医報 1212号	平成30年度地域保健等に関する調査研究助成6:1-8頁
25. 震災による子どもと保育者のストレスに関する調査—北海道胆振東部地震時の園の対応と地震後の状況調査—	単	2019年11月	道保育園保健ニュース 第37号	5-10頁
26. 編集後記	単	2019年11月	道保育園保健ニュース 第37号	16頁

III 社会連携・社会貢献	
所属学会 教育哲学会, 日本保育学会, 日本ペスタロッカー・フレーベル学会, 日本医療保育学会	
(社会的機関の役員委嘱等)	
<全国>	
2006年2月～現在	日本医療保育学会理事
2008年12月～現在	医療保育専門士資格試験口頭試問審査員
2015年10月～現在	日本保育園保健協議会北海道ブロック役員
<道内>	
2003年4月～現在	北海道保育園保健協議会常任理事
2012年4月～現在	全国保育士養成協議会北海道ブロック協議会理事
2013年6月～現在	千歳市子ども・子育て会議会長
2013年4月～現在	北海道社会福祉協議会社会福祉研修所運営委員会副委員長
2018年2月～現在	幼児教育相談員研修講師(エリアスーパーバイザー)
2018年6月～現在	北海道幼児教育推進協議会委員
2019年7月	第68回北海道・東北ブロック保育研究大会第1分科会助言者・講師
2019年7月	北海道教育委員会中堅教諭等研修会講師
2019年9月～現在	石狩市子ども・子育て会議会長
2019年11月～現在	函館市立保育所移管先法人選考委員会委員
(地域の連携・貢献)	
2004年8月～現在	北海道社会福祉協議会主催新任・主任他保育士研修講師
2012年4月～現在	教員免許状更新教習講師
2018年8月～現在	札幌市私立保育園連盟保育士等キャリアアップ研修講師
2019年5月～2020年2月	幼稚園教諭・保育士・小学校研修会講師(十勝教育局, 千歳市, 日高地区, 上士幌町, 釧路市, えりも町, 札幌市, 平取町)
(国際的連携・貢献)	
IV 学内運営活動	
V 学生支援に関する自己研鑽	
2019年2月26日	「ハラスメント研修会」参加(藤女子大学)